

21世紀はペットと人間がより緊密になり、猫・犬は今や家族の一員。家族と同様、外でなく、家で人間と生活を共にしている。

ニッパの最初の飼い主は、イギリスの風景画家マーク・ヘンリー・バロウドであった。1884(明治17年)年、イギリスのブリストルに生まれる。いつも客の脚を噛もうとすることから、“Nipper”(nip=噛む、はさむ:同名の工具の語源)と名づけられる。

ニッパはイギリスのブリストルで生まれ、蓄音機会社グラモフォンの商標で使われたのが源流(1900年6月10日)。日本では日本ビクターのニッパとして広く知られた。



ビクター犬、ニッパ

1887年に飼い主・マークが病死したため、弟の画家フランシス・バロウド(英語版)がニッパを引き取った。

彼は亡き飼い主・マークの声が聴こえる蓄音機を不思議そうに覗き込むニッパの姿を描いた。

その8年後の1895年、ニッパは息を引き取った。遺体はテムズ川辺の桑の木の下に葬られたといわれる

ニッパは、フォックス・テリア系の犬(BBCによればジャック・ラッセル・テリア)であったが、ブル・テリアの血も少し入っていた。

世界で一番有名な犬 ニッパ？

20220929



“His Master's Voice”

会社の姿、会社の業容は時代の流れで大きく変わる。1927(昭和2)年創業の日本ビクターは蓄音機・レコード⇒ステレオ音響機器⇒テレビ⇒1976年、世界規格・VHSビデオビデオ・ビデオカメラを取り扱ったビクターはケンウッドと合併(2011年)し、現在の社名はJVCケンウッド(一部上場企業)

この犬のマークは2022年現在、日本ではJVCケンウッド、およびJVCケンウッド・ビクターエンタテインメント(以下ビクターエンタテインメント) 北米ではRCAがそれぞれ使用

音楽好きの間では知らない人はいないニッパがモデルとなっている
ビクターのロゴマーク

